













あいち朝日遺跡ミュージアム企画展

弥生人といきもの2023 魚をとろう!

あいち朝日遺跡ミュージアム(清須市)では、大人だけでなく、子どもたちにも朝日 遺跡や弥生時代について興味を持ち、理解を深めていただくため、弥生時代の人々 と様々な「いきもの」との関わりについて紹介する企画展を毎年開催しています。

3回目となる今回の企画展では、弥生時代の漁の対象であった「魚」を取り上げ ます。河口や海に近い朝日遺跡の集落では漁が盛んに行われ、各種の漁具や魚の

本企画展では、朝日遺跡で出土した多数の漁具や魚の骨を始め、日本各地の遺跡 から出土した魚や海のいきものに関連した出土品を展示し、弥生人と魚の関わり について紹介します。



イベント

4 イイダコ壺 池上曽根遺跡(大阪府立弥生文化博物館蔵)

● 経商工業(船をこぐ人) 唐古・銀道跡(重要文化財、京都大学総合博物館蔵) 2 結合式、約金計 西川津遺跡(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター蔵)

- 3 絵画土器(魚) 唐古·鍵遺跡(重要文化財、田原本町教育委員会蔵)
- **5 鉄製釣針** 長う子遺跡(広島市蔵)

探検ブック 「魚博士をめざせ!」

会期中、中学生以下の来館者には、 展示内容から正解を探すクイズを 載せた探検ブックを無料配布します

関連講演会・関連イベント等 ※展示の観覧には観覧料が必要です。

「骨の化学分析でわかった 朝日遺跡の弥生人の食生活」

水田稲作の伝来によって、弥生時代の社会は大きく変化したと 考えられていますが、実際に弥生人は米を主食にできたので しょうか。骨に残存するタンパク質の同位体分析でわかった弥 生時代の食生活について紹介します。



場 本館(研修室)

講演会

参加費無料

申込方法
ミュージアム窓口又はミュージアム公式Webページの 応募フォームからお申し込みください。

員 50人(要事前申込み) ※申込多数の場合は抽選。 抽選結果はメールもしくは電話で8月2日(水)までに通知します。

米田 穣氏 東京大学総合研究 博物館教授

申込期間 6月22日(木)から 7月30日(日)まで

田中 恵美

あいち朝日遺跡 ミュージアム学芸員

講師

月替わりメニュー(7月~9月)

場 本館(体験学習室) 定 員 各回先着10人



古代体験プログラム

7月1日⊕→9月30日⊕

申込方法 ミュージアム窓口にてお申し込みください。 ※事前予約はできません。

土•日•祝日 15:00~ (各日1回開催)

●所要時間:45分





講座ヒストリーカフェ

「ごはんのおかずは魚!」

古代の人々は魚をどのように食べていたのでしょうか。今回の 展示資料や奈良時代の文字資料なども参考に、日本の魚食に ついて文化的な側面からお話しします。

9月10日目 13:30~14:30

参 加 費 無料

申込方法 ミュージアム窓口又はミュージアム公式Webページの 応募フォームからお申し込みください。

申込期間 6月22日(木)から8月27日(日)まで

員 25人(要事前申込み) ※申込多数の場合は抽選。

抽選結果はメールもしくは電話で8月30日(水)までに通知します。

常設メニュー

カラフル匂玉作り

●所要時間:60分

●十日祝 11:00~/14:00~

弥生時代の 火の起こし方を 知ろう

火起こし体験 毎日開催

日13:00~ ●十日祝 10:00~/13:00~ ※荒天時は中止します。

AISTI ASATI SITE あいち朝日遺跡ミュ-



名古屋第二環状自動車道 「清洲東IC」から約1分

清洲公園駐車場もご利用いただけます。 駐車場の数には限りがあります。出来る限り公共交通機関のご利用をおすすめします。

